


ワインサップ・トランスレーションのお気楽通信です。

ねこねこ vol.13 新聞



夏バテ気を上げよう!!

こんにちは! 

今回は、にゃー子の目線から見た。
番習訳について語ろうかと思えます。

えー... 人という字はですね... (にゃんぱち先生)

「人間」という文字があってニニケニに
なるのですね。

にゃー子はこの人「人間」という字を作った人を
誰だか知らぬけれど尊敬して、
この世の中に「人間」が存在することで
人々はわかり合えると、思うんです。

その人間とは、表情だったり、言葉だったり、本心だったり...
人間はなにかを返して、や、と通い合えると
思うんです。

人だけがセウタシく、ついてきた「けじゃ
コミュニケーションは難しく、テレパシーでも
ない限り、ふたつち人間は、伝え合うことが
できにゃい... とにゃー子は、思うんです。

そこで番習訳の仕事とは、人が「人間」である限り
必要な基盤だと思、てます。なせなら

伝え合う架け橋だから、これは、もうにゃー子の中の
聖書に書かれています。(ねこねこ聖書)

ココ、
テストに出るかも



せうたし
けじゃ

作成者



にゃー子